

費用、基本は本人が用意

終活カウンセラー協会代表理事 武藤 頼胡さん



お葬式に関する問い合わせで多いのは「いくらかかるか」。内容を決めずに費用だけを聞くのに違和感を覚えます。例えば旅行なら、どこに行きたいか、どんなプランがあって何が含まれるか見比べて検討するはずです。まとまった金額がかかるのはお葬式も一緒で、事前に考えておくのが望ましいでしょう。「一方のお墓は」どう守っていくか」。新しくつくるにしても既存のお墓を利用するにしても、継承に悩む人が多いことの表れです。

家族に迷惑をかけたくないという人が多いですが、どうしたいか後を託す人に伝えることが重要です。費用に関しては亡くなる本人が用意しておくのが望ましいです。家族だと負担割合でもめることがあります。家族が集まる年末年始は終活について話すよい機会。子から親に聞くのもよいでしょう。

(聞き手は土井誠司)